

2024年耳鼻咽喉科月間 申請書

作成日 2024 年 4 月 12 日

地方部会名	栃木県地方部会		
代表者名	伊藤 真人		
担当者名	新田 清一	担当者e-mail	<a href="mailto:seiichi.shinden@gmail.com">seiichi.shinden@gmail.com</a>
活動のタイトル	自治体・メディアと共同で行う「難聴をあきらめない」啓発活動		
アピールポイント	自治体(栃木県庁)、メディア(下野新聞社)、学会(当地方部会)が三位一体となって、難聴や補聴器に関する啓発活動を行った		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	<p><b>関連記事をメディア(下野新聞)に数回にわたって掲載</b>                  下野新聞の協力の下、関連記事を3回にわたって掲載してもらった。市民公開講座の案内を掲載した1週間以内に市民公開講座の予約が満席となり、県民の難聴や補聴器に対する関心の高さが明らかとなった。耳の日にちなんだ補聴器に関する記事も掲載された。</p> <p><b>市民公開講座「とちぎ“耳の日”講演会」を開催</b>                  2024年3月3日(日)に栃木県高齢対策課と共催で行った。開会の挨拶は、栃木県福田富一知事が行った。「難聴をあきらめない～補聴器による脳のトレーニングできこえを取り戻す!～」というタイトルで新田 清一(済生会宇都宮)が講演を行った。参加者は270名で、会場は満員となった。数多くの質問が出て、難聴や補聴器に関する関心の高さがうかがえた。</p> <p><b>耳の日 無料相談会を開催</b>                  上記市民公開講座と同日・同会場で地方部会員3名による耳に関する相談会を行った。市民講座と連動することで難聴や補聴器に関する知識がより深まったと思われる。</p> <p><b>自治体(栃木県)・メディアとの協力体制</b>                  栃木県知事からの働きかけをきっかけに、県と学会が協力して難聴に関する啓発活動が2023年度から始まった。2024年度以降も栃木県高齢対策課が予算を獲得し、引き続き啓発活動を協力して行っていくことが決まった。地元メディア(下野新聞、栃木テレビなど)の協力も期待できる。</p>		

# とちぎ耳の日講演会『難聴をあきらめない～補聴器で脳トレーニングをし聞こえを取り戻す！！』 栃木県知事の X に掲載していただきました



The image shows a screenshot of a tweet from the account @egappetomikazu. The tweet text reads: "とちぎ耳の日（3月3日）講演会『難聴をあきらめない～補聴器で脳トレーニングをし聞こえを取り戻す！！』 ※済生会宇都宮両院内ホールにて参加者約300名 ※講師「宇都宮方式聴覚リハビリテーション」の普及推進を図る「聴覚センター」長新田清一エキスパート医師 \*加齢性難聴の理解促進が図られた". Below the text are two photos: one showing a large audience seated in a hall, and another showing four men in suits standing together on a stage. The tweet has 1 quote and 10 retweets. The right side of the screenshot shows the X app interface with options to log in or create an account, and a section for related accounts including the user's own profile.

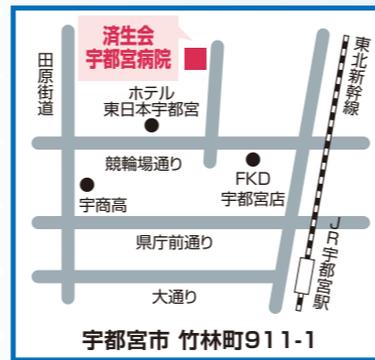


# とちぎ“耳の日”講演会

## 難聴をあきらめない～補聴器による脳のトレーニングできこえを取り戻す!～

「加齢性難聴」は、早期発見・早期対応が重要です。県民の皆様の加齢性難聴に対する意識醸成を図るため、“耳の日”である3月3日に、加齢性難聴に関する講演会を開催します。

日時	令和6(2024)年3月3日(日) 13:00～14:30
会場	済生会 宇都宮病院 南館 みやのわホール
定員	200名(先着申し込み順)(無料)
主催	栃木県 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会



### お申込み

観覧ご希望の方は、官製はがき・FAXまたはWeb(2次元バーコード)よりご応募ください。先着順にご招待いたします。  
ご応募いただいた方には、2月末までに、聴講券をハガキもしくはメールで順次お送りいたします。

#### ① 官製ハガキ・FAXの方(1応募につき4名様まで)

お名前、住所、年齢(複数人で応募の場合は、参加者全員の氏名・年齢を記載)を明記の上、〒320-8686 宇都宮市昭和1-8-11 下野新聞社 営業局 業務推進部内「とちぎ“耳の日”講演会」事務局宛にお申込みください。 FAX.028-625-0032

#### ② Webの方 (1応募につき4名様まで応募可)

右の2次元バーコードから申込サイトにアクセスし、必要事項を明記の上ご応募ください。

<https://1e34f211.form.kintoneapp.com/public/83f447ac342e2a951c510df3cb04a932ff3afa1c78083dff038cb6f3e1df16aa>



済生会宇都宮病院耳鼻咽喉科  
主任診療科長・聴覚センター長  
**新田 清一先生**

1994年に慶應義塾大学医学部を卒業後、横浜市立市民病院副医長やヨーロッパ臨床留学などを経て、2004年から現職。

『難聴・耳鳴りの9割はよくなる』など著書多数。難聴や耳鳴りで困っている全ての方を幸せにするために“聞こえる”プロジェクトを起ち上げ、補聴器のトレーニング方法である「宇都宮方式聴覚リハビリテーション」の普及を推進している。

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 栃木県地方部会  
主催の相談会を同日開催!(無料)  
10:00～13:00 受付は12:30まで

3月3日が世界的に耳の日として知られていることから、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では毎年3月1日～31日を「耳鼻咽喉科月間」とし、日本における耳鼻咽喉科に関するさまざまな啓発活動を行っています。(https://www.jibika.or.jp/owned/jibika/)。

ご応募いただきました個人情報は、本講演会に関するご連絡及び、個人を特定しない統計データにのみ利用します。

お問い合わせ  
応募先

〒320-8686  
宇都宮市 昭和 1-8-11

下野新聞社 営業局 業務推進部内「とちぎ“耳の日”講演会」事務局

TEL 028-625-1001(平日9:00～17:00)  
FAX 028-625-1132(24時間)  
MAIL 33nohi@shimotsuke.jp